

平成30年度 社会福祉法人愛誠会 事業報告

平成30年度は、9月6日発生しました北海道胆振東部地震により各事業所とも被害を受けました。利用者様では愛誠園においては2名の軽傷者はありましたが、生命にかかわる重傷者がおりませんでした。

また、愛誠園では、この震災により被災した厚真町の特養豊厚園の利用者様を震災当日から約4カ月間、一日最大15名でお預かりしました。

障がいのグループホームの利用者様は、破損がひどかったため避難所生活が余儀なくなりましたが、グループホーム樹海は「半壊」となり居住不能となったことから取り壊しし、代替施設として町内の山田様から無償で譲りうけた建物を北海道とむかわ町の補助も頂き改修して新しい「グループホーム樹海」として平成31年2月27日より入居しております。

その他各事業所でも、壁クロスの破損、外構アスファルトの破損、外壁の破損、訓練棟など建物の破損、浄化槽の破損など、この震災の復旧費に約9千2百万円かかり、うち国の補助査定では6千6百万円となり、約2千6百万円の法人負担となりました。これらの一部は平成31年度と分けて実施しています。

また「認定NPO法人難民を助ける会」や「ヤマト福祉財団」「日本財団」をはじめ民間の支援団体からも多くの支援をいただき早期竣工の見込みです。

今後防災計画の見直し、機材資材の整備、非常食ありかたについて、協議が必要と考えております。

法人運営の基本は人づくりであります。利用者様へのサービスの質の向上のため、研修後は各事業所において、復命研修を重ねて行い職員間で共有することができました。また、講師を依頼し、管理職、中間職、一般職と分けて研修会を実施しました。

職員の人材確保については、震災もありむかわ町内外の高校、札幌近郊の専門学校、短大、大学への求人活動も一回りしか出来ず、また公的はもちろんのこと民間の派遣会社や職業紹介所への登録など行ってきましたが、30年度は紹介所を除き新卒採用までには至りませんでした。しかし、穂別高校生より修学資金貸付についての申込が1名ありました。

財務状況は、25年度から3期続いた赤字決算も、28年度に引き続き、29年度も黒字に転じてきましたが、震災の関係もあり30年度はまた赤字となっております。

今後も会計事務所の方々のご協力を得ながら各事業所での経営の分析を行い幹部職員と情報の共有化を深めていきたいと考えております。

高齢者福祉事業について、ベットの稼働率については、職員の不足により新規入所者で補充することが困難となり、低下を来しました。

障がい福祉事業についても、待機者の不足などにより年度末までに補充が出来ませんでした。通所については、わずかですが増えたところです。生産活動は、震災の関係もあり売り上げが全体的に減少しております。

愛誠園の施設整備については、むかわ町と協議を始めましたがその直後に震災に見舞われ協議は中断したままです。今後引き続き協議は進めていく予定です。

〔重点目標と推進結果〕

(1) 経営全般

北海道胆振東部地震による損傷箇所の復旧に関することが優先され、新たな支出となったことから法人経営が厳しくなってきましたが、利用者様へのサービスの低下に

ならないよう平成30年度も取り組んでまいりました。

(2) 人事・労務管理

人員不足については、ハローワークを始め学校や有料の職業紹介所など各関係機関にも要望し確保に努めましたが、震災の関係でなかなか充足状況は悪く雇用情勢は厳しい状況でありました。

平成30年度中の職員の動静は、退職者が、19名（正規：6名、嘱託：6名、非常勤：7名）に対し採用者は、18名（正規：8名、嘱託：7名、非常勤：7名）であり、ほかに1名を非常勤職員から正規職員へ、2名を嘱託職員から正規職員へ待遇改善を行いました。

(3) 事業運営関連

各事業所共に更なる利用実績の向上にむけた努力をしてみましたが、愛誠園では職員の人員不足から退所者に伴う空床に新規の利用者様を補充することが難しい状態であり、厳しい経営状況となっております。

また、むかわ夢風船やほべつ就労支援センターでは、在籍する利用者様が定員を満たさない状況から、近隣の市町村や関係機関などへの働きかけを行いました。今後共利用者様の確保と経営の安定に努めてまいります。

(4) 施設整備関連

愛誠園の施設整備事業実施については、むかわ町と協議を始めましたが、その直後に震災に見舞われた為、話し合いは中断しているところです。今後も引き続き話し合いを続けていきます。

震災によりほべつ誠光、ほべつ誠和の本体は、一部破損しましたので復旧工事として改修しました。

ほべつ誠光における生活介護拠点である訓練棟建物については、震災前に老朽化により改修しましたが、震災により車庫が破損したため、復旧工事として改修いたしました。

ほべつ誠和における生産活動拠点である木工場と軍手工場の一部が震災によって破損しましたので復旧工事として改修しました。

ほべつ就労支援センター関連施設の、緑竜アペラスでは、震災により椎茸菌床棚が崩れたり、発生棟等の一部破損、浄化槽の破損などがあり、復旧工事で30年度、31年度に分けて、改修等を行いました。

ほべつ夢風船では、震災での破損が激しかったため、年度一杯改修にはかかりましたが新年度に間に合わせて再オープン出来るよう行いました。

グループホームかっぷりんぐでは、各グループホームの破損が激しかったので、一時避難所での生活が続きましたが、ホッピー、銀河、ひかりと順次改修を行い避難所から戻ることが出来ました。樹海については、破損が著しくむかわ町の判定では、「半壊」となり、むかわ町により取り壊しとしました。ご厚志により寄贈された代替施設となる住宅改修も完了し、新しい環境の中で安心して暮らしております。

むかわ夢風船は、震災による大きな破損はありませんでした。電気、水道が通ってからの9月9日から営業を再開しました。

(5) 生産事業関連

緑竜アペラスについては、平成29年度から従来の品種に戻し問題点等を改善しながら進めてきましたが、震災により菌床棚が破損し、また発生棟等の一部破損により生産量が減少しましたが、年度末にはある程度元の状況に戻ってきたところです。

ほべつ夢風船については、震災後破損が激しく改修に時間がかかったこともありパンの販売事業に影響が出て、販売は前年度より減少しました。

就労継続支援事業（受託事業）による木質ペレットの生産業務については、苫小牧広域森林組合の指示により一部生産調整が行われました。また、震災により倉庫等に破損があり、補修に時間がかかり生産体制も低下しました。

ほべつ誠和による生産活動（印刷、農産、クリーニング、軍手）については、震災により木工場や軍手工場の一部が破損し、補修に時間がかかりました。

クリーニングについては、震災後町内を中心に13日から営業を行いましたが、売り上げは減少しました。尚、9月8日から愛誠園（穂別地区断水のため）、10日からは鵜川慶寿苑（ボイラー等破損の為）の利用者様の衣類等を20日まで無料でクリーニングを行いました。

むかわ夢風船は、震災後9月8日には工場を稼働させ、穂別地区避難所にパン300個を寄贈しました。9日には鵜川地区避難所にパンを350個寄贈しました。合わせて9日より店舗の営業を再開いたしました。また、むかわ町教育委員会より学校給食設備の破損により毎日の給食用パンの供給を依頼がありましたので、迅速に対応しました。震災後多くの方々が町内に訪れたことから、店舗での売り上げが伸びました。

(6) むかわ町移動支援事業の受託運営

平成30年度も利用実績はありませんでしたが、今後も町、社会福祉協議会並びに関係機関等との連携により、地域における障がい者福祉の増進を目的とした事業の定着に努めてまいります。

(7) 相談・苦情の受付

苦情について利用者様やご家族などから法人全体で3件ありました。その都度速やかに対応し解決されており、大きな問題には至っておりません。苦情解決委員会にて第三者委員の方々にも報告しております。

理事会・評議員会の開催状況、監事の監査状況

1. 定例理事会開催状況

回数	開催日	理事出席	監事出席	報告件数	議案件数
第1回	平成30年 6月11日	6名	3名	2件	5件
第2回	平成30年 9月10日	6名	1名	3件	2件
第3回	平成30年12月 7日	6名	3名	5件	5件
第4回	平成31年 3月27日	5名	2名	5件	4件
計（延べ出席人数）		(23名)	(9名)	15件	16件

2. 評議員会開催状況

回数	開催日	評議員出席	監事出席	報告件数	議案件数
第1回	平成30年 6月26日	7名	3名	1件	1件
臨時	平成30年12月19日	7名	3名	1件	2件
計（延べ出席人数）		(14名)	(6名)	2件	3件

3. 監事監査実施状況

回数	開催日	出席監事	監査実施項目	監査意見	提案事項
第1回	H30. 5. 28 (月) H30. 5. 31 (火)	3名 3名	平成29年度の事業 運営・決算、預り 金管理、他	監査結果適正で ある。	なし。

第2回	H30. 8. 23 (木) H30. 8. 24 (金)	3名 3名	利用者処遇及び処 遇方針等、職員の 研修、資格取得及 び人員確保対策、 預り金管理、他	監査結果適正で ある。	なし。
第3回	H30. 11. 28 (水) H30. 11. 29 (木)	3名 3名	平成29年度上半 期終了時点の事業 運営状況・財務状 況、預り金管理、 他	監査結果適正で ある。	なし。
第4回	H31. 3. 11 (月) H31. 3. 12 (火)	3名 3名	利用者処遇及び処 遇方針等、職員の 健康管理、預り金 他	監査結果適正で ある。	なし。

給食材料の購入状況

1. 給食材料購入額及び割合

月	穂別地域内業者	穂別地域外業者	合 計
4月	3,794,257円 (68.71%)	1,727,476円 (31.29%)	5,521,733円
5月	3,955,412円 (72.89%)	1,471,176円 (27.11%)	5,426,588円
6月	3,871,595円 (72.59%)	1,462,032円 (27.41%)	5,333,627円
7月	3,720,349円 (70.17%)	1,581,523円 (29.83%)	5,301,872円
8月	3,784,720円 (69.40%)	1,830,834円 (32.60%)	5,615,554円
9月	3,576,984円 (73.19%)	1,310,228円 (26.81%)	4,887,212円
10月	3,871,359円 (67.91%)	1,829,653円 (32.09%)	5,701,012円
11月	3,757,938円 (67.82%)	1,783,003円 (32.18%)	5,540,941円
12月	4,097,532円 (66.98%)	2,019,637円 (33.02%)	6,117,169円
1月	3,461,824円 (66.47%)	1,746,205円 (33.53%)	5,208,029円
2月	3,183,497円 (64.94%)	1,718,906円 (35.06%)	4,902,403円
3月	3,915,399円 (69.02%)	1,757,596円 (30.98%)	5,672,995円
合 計	44,990,866円 (68.97%)	20,238,269円 (31.03%)	65,229,135円
前年度	47,091,454円 (70.48%)	19,720,158円 (29.52%)	66,811,612円

※1) 上記は、給食業務委託業者取扱分並びに穂別高齢者グループホームみのり、グループホームかつぷりんぐの給食材料、水分補給飲料及び間食材料を含む購入額であり、行事等に伴う外食費用は除く。

※2) 給食業務委託業者取扱分内訳

	穂別地域内業者	穂別地域外業者	合 計
愛 誠 園	18,287,233円 (58.92%)	12,748,796円 (41.08%)	31,036,029円
ほべつ誠光	10,535,917円 (71.13%)	4,276,263円 (28.87%)	14,812,180円
ほべつ誠和	8,298,365円 (72.09%)	3,213,210円 (27.91%)	11,511,575円
合 計	37,121,515円 (64.72%)	20,238,269円 (35.28%)	57,359,784円
前年度	38,744,419円 (69.71%)	19,720,158円 (30.29%)	58,464,577円